

防衛調達審議会 平成26年度活動報告（総論）

【はじめに】

防衛調達審議会は、防衛装備品等の調達における透明性・公正性確保のため、部外有識者による監視組織として、防衛調達に関する規則等を調査審議し、必要に応じ、防衛大臣に対して意見を述べることとされています。

同審議会はこれまで、防衛装備品の調達に係る契約をサンプリングし、適正性、効率性、合理性及び経済性などの観点に基づき、専門的視点かつ一国民としての視点から意見を述べ、防衛装備品調達の透明性・公正性向上のために尽力してまいりました。

この度、平成26年度防衛調達審議会の活動を取りまとめるに際し、個々の契約案件を審議した際の具体的な指摘内容とともに、審議を通じて得られた所見を述べさせていただき、調達関係職員の業務の一助、更には総合取得改革の検討の推進になれば幸いと考え、ここに御報告いたします。

【審議事項等】

平成26年度防衛調達審議会活動概要にあるとおり、陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、技術研究本部及び装備施設本部を調査審議の対象とし、主として平成25年度契約の中から、個別の契約をサンプリングし審議を行う等してまいりました。

【審議における所見】

(1) 主な審議対象

審議対象となったもののうち、主なものは以下のとおりです。

長期契約を予定している「P-1固定翼哨戒機」については、今後、長期契約により、安定的、効率的な調達に大きく寄与することが期待されますが、維持費の考え方や材料費の高騰への対策など計算価格につき、引き続き注視して今後の審議会の場で報告していただくように指示をしたところであります。また、他の装備品への適用についても、本件を参考として情報を共有し、逐次、改善点等の分析を行いつつ進めて行くことが必要であると考えます。

また、「対潜航空システム通信装置の換装」については、予定価格の算定にあたり、コストを積み上げた計算価格と予算額との差額を「調整額」という名目で計算価格から減額調整したことにつき指摘をいたしました。予定価格の算定に際

しては、基本的に生産費用を適正に反映したものとすべきであり、計算価格が予算額を上回った場合には、予算の増額措置又は仕様の変更等を行うことが適正であると考えます。本件については、国会においても質疑を受けたとのことであり、御省からは、「調整額」により計算価格を減額調整することのないよう、計画的に予算を執行することに努め、予算の増額措置又は仕様の変更等を行うことによって、余裕をもって調達できるよう、省内関係部署に改めて周知するとの御回答をいただきました。今後も、引き続き注視しつつ経過を見守りたいと考えております。

さらに、「戦闘糧食Ⅱ型 さんま蒲焼き他2品目」について、保存試験合格者が1者しかおらず、1者応札が常態化していることについて指摘し、競争性の拡大について検討を促しました。御省からは、1者応札の原因を考察し、保存試験を16か月間行うところを約1か月に短縮することによって、競争性が拡大できると考え、今年度から仕様書の見直しをおこなったところ、戦闘糧食21品目中、3品目において新規参入の申し出があったと報告がありました。本件は、競争性の拡大が図れたものと考えており、引き続き競争性の拡大に努められるようお願いをいたします。

(2) 調達制度等全般に対する意見

調達制度等の全般的な話としては、以下のような意見がありました。

- ・ 原価監査付契約で一定の下請比率を上回る場合には、外注部分がブラックボックス化しないよう、自動的に下請原価監査を付けることを検討すべきである。
- ・ 当初計算時の算定根拠資料の保管を必ず行い、当初計算価格の妥当性が検証できる体制を整備すべきである。
- ・ 計算価格における外注率が相当程度高い案件においては、元請けの役割が希薄化している事態が想定されることから、そうした案件についてのG C I P（総利益率）の適用方法を別途検討すべきである。
- ・ 随意契約を適用することにつき、合理的な説明が可能な契約を対象として、随意契約の適用範囲の拡大を検討すべきである。

(3) 個々の審議における意見

個々の審議においては、以下のような意見がありました。

- ・ 海外ベンダー企業に対して、今後は契約上で報告様式を定めて、原価報告書を提出させるような契約形態を検討すべきである。

- ・ 審議を受けるにあたり、審議案件に関連する一連の過去の契約の全体感を把握できる資料や、価格の規模感や相場観を比較できる資料を作成していただきたい。
- ・ 入札者が多くなるよう、個別の案件の状況を勘案しながら、一括調達及び分割調達を使い分けるべきである。
- ・ 契約相手方1者のみが販売代理権を有している案件について、一般競争入札の適否を検討すべきである。
- ・ 基本的には十分な公告期間の確保に努める必要があるものの、同業他社の参入意欲の有無の確認をしつつ、調達の効率性や経済性にも十分配慮して、個々の契約に適合した合理的な公告期間を設定すべきである。
- ・ 外注費を精査することによって、更なる価格低減を追求すべきである。

【最後に】

平成27年度には防衛装備庁が設置される予定と伺っており、これまでの防衛装備品等の調達に関する調査審議に加え、装備品等のライフサイクル全体を通じたコストパフォーマンス及びスケジュール管理というプロジェクト管理についても、より一層の透明性及び公正性の確保が肝要ではないかと考えております。

防衛省におかれては、引き続き適正かつ効率的な防衛装備品調達に努めて頂くとともに、その更なる改善に向けた検討を進めて頂くことを期待します。

以下、平成26年度防衛調達審議会活動概要を添付し、活動報告とさせていただきます。

平成27年5月
防衛調達審議会

平成26年度防衛調達審議会活動概要

1 開催状況

平成26年度においては、第118回から第126回（計9回）の防衛調達審議会を開催するとともに、海上自衛隊の部隊活動並びに装備品等の運用状況及び整備業務について現地視察を実施した。

2 委員

会 長	渡邊 一弘 ^{※1}	（弁護士、東海大学法科大学院教授）
会長代理	尾畑 裕 ^{※2}	（一橋大学大学院商学研究科教授）
委 員	藤川 裕紀子	（公認会計士 藤川裕紀子公認会計士事務所）
委 員	星 千絵 ^{※3}	（弁護士 田辺総合法律事務所）
委 員	堀内 三郎 ^{※4}	（公認会計士）
委 員	山口 更織	（公認会計士 有限責任監査法人トーマツ）
委 員	山田 澤明	（株式会社野村総合研究所 監査役）

※1 平成27年1月21日 会長へ選任（継続）

※2 平成27年1月21日 会長代理へ指名（継続）

※3 平成26年4月1日 新たに委員に任命

※4 平成27年1月15日 定年により委員を退任

3 調査審議対象機関

陸 上 自 衛 隊（補給統制本部・北海道補給処・東北補給処・関東補給処・関西補給処・九州補給処）

海 上 自 衛 隊（補給本部・艦船補給処・航空補給処）

航 空 自 衛 隊（第2補給処・第2補給処十条支処・第3補給処・第4補給処）

技術研究本部（本部）

装備施設本部（中央調達）

4 調査審議等の状況

（1）サンプリング調査審議の状況

平成26年度のサンプリング調査審議において、調査審議した件数は次表のとおり

平成26年度 サンプルング調査審議の実施契約件数

開催回	調査審議対象機関	随意契約等に係る サンプルング調査 審議	1者応札・1者応募案 件に係るサンプル ング調査審議	計
第119回 (26.5.28)	装備施設本部	(中央調達) 1件	10件	11件
第120回 (26.7.16)	技術研究本部	(本部) 1件	9件	10件
第121回 (26.9.24)	陸上自衛隊	(関西補給処) 1件	10件	11件
第122回 (26.10.15)	航空自衛隊	(第2補給処十条支処) 1件	9件	10件
第123回 (26.11.19)	海上自衛隊	(航空補給処) 1件	9件	10件
小計		5件	47件	52件
仕様書等に係るサンプルング調査審議				
第126回 (27.2.18)	全機関*			10件 (陸自2件、海自2件、空自2件、技本2件、装施本2件)
計		62件		

※ 「全機関」とは調査審議対象機関全てのことをいう。

サンプルング調査審議における主な指摘事項等は、別添「平成26年度防衛調達審議会での主な指摘事項等」のとおり。

なお、別添に記載の主な指摘事項等に対するフォローアップとして、平成27年度の審議会において、改善状況等の報告をすることとしている。

(2) フォローアップの実施状況等

サンプルング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップについては、比較的短期間で改善等が行われる項目とある程度の検討期間が必要な項目があることから、例年、調査審議の翌年度の4月と12月の2回報告を実施している。

平成26年度においては、平成25年度サンプルング調査審議での指摘事項等に対するフォローアップを第118回(平成26年4月)と第124回(平成26年12月)の2回実施した。

(3) 過大請求事案についての報告

第118回審議会において(株)島津製作所、(株)鶴見精機及び古野電気(株)による過大請求事案、第120回審議会において(株)ネットコムセックによる過大請求事案について各々報告を行った。

このうち、(株)島津製作所及び(株)鶴見精機については、特別調査を終え返納金が平成26年3月25日に国庫に納入されたため指名停止の措置を終了したこと及び(株)ネットコムセックについては、過大請求が発覚し、特別調査を終え返納金が平成26年6月25日に国庫に納入されたため指名停止の措置を終了したことを報告した。

なお、古野電気(株)による過大請求事案に関する状況については、今後、防衛調達審議会へ報告することとする。

5 各回の審議概要

【第118回審議会】 平成26年4月23日(水) 10:00~12:05

- 平成25年度サンプリング調査審議に係るフォローアップ(第1回)
平成25年度に実施されたサンプリング調査審議での指摘事項等に対し、フォローアップ状況を中間報告
- (株)島津製作所及び(株)鶴見精機による過大請求事案に係る返納金の国庫への納入等について
(株)島津製作所及び(株)鶴見精機による過大請求事案に係る返納金の国庫への納入、古野電気(株)による過大請求事案及び(株)島津製作所による翌年度納入について、経理装備局装備政策課から説明
- 平成25年度防衛調達審議会の活動概要
平成25年度に開催された防衛調達審議会の審議概要等を取りまとめ、報告

【第119回審議会】 平成26年5月28日(水) 10:00~12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議(平成25年度装備施設本部)
「P-1固定翼哨戒機」について調査審議
- 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議(平成25年度装備施設本部)
1者応札7件、1者応募3件について調査審議
- 平成25年度ライフサイクルコスト管理年次報告書について
装備施設本部から説明
- 平成25年度調達業務等監査報告
平成25年度に実施した装備施設本部等の調達業務等監査の結果について、経理装備局監査課から説明

【現地視察】 平成26年6月12日(木)~13日(金)

- 12日(木) 海上自衛隊呉地方総監部、第31航空群(岩国)等
- 13日(金) 海上自衛隊第1術科学校(江田島)等

【第120回審議会】 平成26年7月16日(水) 10:00~12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議(平成25年度技術研究本部)
「装置搭載用機体設計製造」について調査審議
- 1者応札・1者応募案件に係るサンプリング調査審議(平成25年度技術研究本部)

- 1者応札6件、1者応募3件について調査審議
- (株)ネットコムセックによる過大請求事案について
過大請求事案に係る返納金の国庫への納入等について、経理装備局装備政策課から説明
- 入札状況報告(平成25年度第1・第2/四半期)
平成25年度第1・第2/四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、経理装備局監査課において不自然な入札案件を抽出し、調査審議
調査審議の結果、必要があれば、担当する調達実施機関に通知

【第121回審議会】 平成26年9月24日(水) 10:00~12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議(平成25年度陸上自衛隊関西補給処)
「エンジンASSY96式装輪装甲車(保管エンジン防錆運転)ほか5品目」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議(平成25年度陸上自衛隊)
1者応札7件、1者応募3件について調査審議

【第122回審議会】 平成26年10月15日(水) 10:00~12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議(平成25年度航空自衛隊第2補給処十条支処)
「SHAFT, FAN REAR 外85品目」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議(平成25年度航空自衛隊)
1者応札6件、1者応募3件について調査審議

【第123回審議会】 平成26年11月19日(水) 10:00~12:30

- 随意契約等に係るサンプリング調査審議(平成25年度海上自衛隊航空補給処)
「対潜航空システム通信装置の換装」について調査審議
- 1者応札・1者応募に係るサンプリング調査審議(平成25年度海上自衛隊)
1者応札5件、1者応募4件について調査審議

【第124回審議会】 平成26年12月17日(水) 10:00~12:30

- 平成25年度サンプリング調査審議のフォローアップ(第2回)
平成25年度に実施されたサンプリング調査審議での指摘事項等に対し、フォローアップ状況を報告
- 会計検査院による平成25年度決算検査報告の概要について報告
防衛省に対する会計検査院による平成25年度決算検査の報告について、経理装備局監査課会計監査室から説明

【第125回審議会】 平成27年1月21日(水) 10:00~11:00

- 委員の紹介

- 会長の選任及び会長代理の指名
- 防衛調達審議会の議事の取扱いについて
- 入札状況報告（平成25年度第3・第4／四半期）
平成25年度第3・第4／四半期に行われた装備品等の競争入札を対象に、経理装備局監査課において不自然な入札案件を抽出し、調査審議
調査審議の結果、必要があれば、担当する調達実施機関に通知

【第126回審議会】 平成27年2月18日（水）10：00～12：00

- 平成26年度防衛予算（案）の概要
- 仕様書等に係るサンプリング調査審議（平成25年度 陸上自衛隊、海上自衛隊、航空自衛隊、技術研究本部、装備施設本部）
1者応札6件、複数者応札4件について調査審議
平成27年度防衛調達審議会開催計画等について事務局から説明、了承

※ 随意契約等、1者応札・1者応募案件及び仕様書等に係るサンプリング調査審議での指摘事項等については、別添のとおり

平成26年度防衛調達審議会での主な指摘事項等

(随意契約等、1者応札・1者応募案件及び仕様書に係るサンプリング調査審議)

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等
第119回 (26.5.28)	装備施設本部	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「P-1固定翼哨戒機」 (概要) 本件は、P-3C固定翼哨戒機の後継機として我が国周辺海域において、警戒監視、哨戒等の任務に就く航空機であるP-1固定翼哨戒機2機を製造するものである。	特になし
			一般競争(不落随契を含む)	(1者応札) ・補給管理システム用電子計算機借上(その2) ・航空自衛隊指揮システム用プログラム(その2-1) ・情報システム GRQ-62 ・高機動車 ・ソノバイ(HQS-13G-1・ダイファー用) 他1件 ・スキ-3型	【補給管理システム用電子計算機借上(その2)】 借上機器の内訳と台数がわからないと価格の相場観や規模感が見えてこない。市場の相場観と乖離していないことを確認したい。 【航空自衛隊指揮システム用プログラム(その2-1)】 マン・マンスで言えば、どの位になるのか。計算の内容について説明されたい。
		随意契約	(1者応募) ・潜水艦(8124) ・掃海艦(204) ・US-2用BLC装置(KCS-2001・搭載用)	特になし	
第120回 (26.7.16)	技術研究本部	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「装置搭載用機体設計製造」 (概要) 本件は、次期機上電波測定装置の飛行試験において使用する試験母機(次期輸送機試作2号機)の胴体部の構造に改善を要する事項が確認されたため、その改善対策を施した胴体を製造するとともに、次期機上電波測定装置の試作品を搭載するために必要となる配線、配管等の組み込みを行うものである。	量産機胴体部分との金額の比較がないと、本件契約金額の妥当性が分からないので、金額比較できる資料を作成し説明されたい。
			一般競争(不落随契を含む)	(1者応札) ・インターダクトの電波反射特性に関する検討役務 ・標的装置のうち付属品の改修 ・よう船(無人航走体構成要素の性能確認試験に係る支援作業)(その3) ・よう船(無人航走体構成要素の性能確認試験に係る支援作業)(その2) ・艦船用ユニットクーラの製造 ・ルネバルグレンズの製造	特になし
		随意契約	(1者応募) ・洋上標的の製造 ・テレメータ中継ボツドの製造 ・テストセル運転制御装置等の点検整備に係る役務作業	特になし	

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等
第121回 (26.9.24)	陸上自衛隊	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「エンジンASSY96式装輪装甲車(保管エンジン防錆運転)ほか5品目」 (概要) この契約は、自動車排出ガス規制強化の影響による製造中止に伴い、平成22年度の中央調達により一括取得し保管されている96式装輪装甲車のエンジン(77台)について、防錆運転を行うことにより、錆の発生を防止し、機能及び性能の維持を行うものである。	下請負原価監査がどのような考えであるのかを補足。 →第123回審議会(26.11.19)において、経理装備局装備政策課開発・調達企画室が回答 (要旨) 基本は確定契約にするという大きな流れがある中で、必要な資料が整わない等の場合に金額の精度を担保するために原価監査を付しているが、監査を行うことは、防衛省及び企業側からしても手間も能力も掛かるものなので、より重要な案件に優先的に注がれた方が全体からするとよいのではないかと考える。
			一般競争(不落随契を含む)	(1者応札) ・ゴミ分別集積室 一般用 大型 Aタイプ 一般仕様 他11品目 ・水中スクータ(改)(潜水機材セット用) ・感染防止マスク, 3M9211, 10枚 ・エアージェーズクリーナ(50Hz)他1品目 ・陸自業務システム基盤維持支援 2件 ・大・中型セミトレーラ用床板他6件	【ゴミ分別集積室 一般用 大型 Aタイプ 一般仕様 他11品目】 今回契約と過去の契約をカテゴリーに分けて単価比較できるような形で示されたい。 →第126回審議会(27.2.18)において回答 (要旨) 今回契約及び契約実績を各規格毎に単価比較表を作成した。
			随意契約	(1者応募) ・師団等指揮システムの維持・整備支援ほか8品目 ・ホイール ロードほか1品目 ・冷却ポンペ(誘導武器用高圧ガス容器)の容器再検査他45件	【ゴミ分別集積室 一般用 大型 Aタイプ 一般仕様 他11品目】 作成された資料は判りにくいので、詳細をもう一度議論させていただきたい。 →第126回審議会(27.2.18)において回答 (要旨) 資料を新たに作り直し比較表を作成し説明。
第122回 (26.10.15)	航空自衛隊	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「SHAFT, FAN REAR 外85品目」 (概要) この契約は、東日本大震災により、松島基地において被災したF-2航空機のF110エンジンを修復するために、当該エンジン全般にわたる部品を購入する契約である。	サンプリングで抽出した4品目中、1品目だけ実績と比べた工数の低減率が高く、約3時間も減っている。理由は何か。 外注費に関し、低減がどれだけでできているかを検証されたい。
			一般競争(不落随契を含む)	(1者応札案件) ・事務用品(事務用消耗品及び什器)(Webカタログ方式(通信販売方式)) ・旋回シリンダASSY外10品目 ・弾薬等廃棄処分 ・PANEL DISPLAY外11品目 ・自動膨張装置(救命胴衣用), EIU-4/P型外1品目 ・箱型土のう	【自動膨張装置(救命胴衣用), EIU-4/P型外1品目】 調達数量10個というのは、実績数と比べてかなり小さいように思われるが、やむを得なかったのか。次年度にまとめて調達するなどして価格低減に努めるなどの検討しなかったのか。
			随意契約	(1者応募案件) ・RECEIVER, RADAR外7品目 ・YS-11維持管理のための会社技術利用(25国) ・事務共通システム 適用業務用プログラムの改修	特になし

開催回	対象機関	審議区分	契約方式	契約件名	主な指摘事項等
第123回 (26.11.19)	海上自衛隊	随意契約等に係るサンプリング調査審議	随意契約	「対潜航空システム通信装置の換装」 (概要) この契約は、海上自衛隊第1、第2、第4、第5及び第31航空群司令部機能に対応した航空通信システムを構築するため、各航空群司令部に対潜航空システム通信装置を換装する契約である。	委: 契約するまでのスケジュール管理を行うなどして、ある期限を越えたら仕様変更を行うことや調達を見直して一部を次年度に調達するなどのガイドラインみたいなものを検討してもよいのではないか。 防: 早期調達を実施するため、各機関の状況を確認し検討する。 → 第124回(26.12.17)審議会において、経理装備局監査課が回答 (要旨) 早期調達に関し、既存のガイドラインがあるので、それを徹底することをそれぞれの機関で取り組むこととしたい。
			一般競争(不落随契を含む)	(1者応札案件) ・携帯型探照灯, 2型(審議対象2件) ・緊急展開型入浴セット, 隊員活動用 ・電子家庭通信装置 ・可変ピッチプロペラ装置部品 WIRE, NONE ELECTRICAL 外	特になし
			随意契約	(1者応募案件) ・(輸入)航空機部品(官給用) SEAL ASSY ほか87件 ・輸送役務 ・水上艦用防振管継手 HOSE ASSY, NON METALLIC 外 ・C-130R機体システムの技術維持活動	【水上艦用防振管継手 HOSE ASSY, NONMETALLIC 外】 調達契約する日と、通年公募の期間が適切だったのかという考え方等を整理し説明されたい。
第126回 (27.2.18)	全機関	仕様書等に係るサンプリング調査審議	競争入札	(1者応札6件) ・ゴミ分別集積室 一般用 大型 Aタイプ 一般仕様 他 11品目 ・緊急展開型入浴セット, 隊員活動用 ・事務用品(事務用消耗品及び什器)(Webカタログ方式(通信販売方式)) ・弾薬等廃棄処分 ・船舶用ユニットクーラの製造 ・スキー3型 (複数者応札4件) ・Microsoft Professional Desktop ・ソフトウェアライセンス(GEAライセンス, ネットワーク型) ほか3件 ・威力試験用鋼板(その2)の製造 ・冬服, 陸, 曹士用	【Microsoft Professional Desktop】 調達要求用の見積書は、それを参考にして分析する可能性もあり、予算の根拠となる数字を立証できるものであるため、基本は保存をして、保存しないものを限定的にすべきであると思われる。調達要求用の見積書の保存方法について検討されたい。